

悪化要因の具体例

まずは、**コルセットや履き物、杖などの使い方が問題だった例です。**

コルセットによるあばらの痛み 80代女性

あばらが痛くなり、右腕も挙げられなくなったおばあさんが治療にみえました。この方の原因は畑仕事をするときに締めていたコルセットでした。前屈みになったときにコルセットがあばらに当たって痛みを起こしていました。しばらくコルセットを着けるのを止めてもって治療したら痛みはなくなりました。

MRIでは分からない麻痺の原因 70代男性

6時間後部座席に乗りっぱなしのあと車を降りたら左下肢が麻痺して力が入らなくなった方が治療に見えました。脳神経科でCTを撮ってもらったが異常なく、整形外科でMRI検査を受ける事になり、検査まで間があるので鍼灸でなんとかならないかと思っの来院でした。

一時的な麻痺は何かで神経を圧迫すると起こると云う話をしたら、ご本人がコルセットを締めて車に乗っていたことを思い出して原因が見つかり一件落着となりました。

思わぬしびれの原因 40代女性

日中立ち仕事で歩いていると夜になってから足底がしびれる。とくに小指側が強いと訴える患者さんが来ました。靴下の小指側のすり切れに気がついて、ご本人に内股で歩かないか尋ねたところ思い当たらないとの返事でしたが、その後患者さんがサンダルのベルトが少し切れて足が外側にずっこけたまま履いている事に気がついて、そのサンダルを履かなくしたら治りました。

胸の痛み 90代 女性

腰椎の圧迫骨折や転倒で入退院を繰り返した後、帰宅後一週間して右胸が痛くなり痛み止めが効かないとおばあさんが来院されました。この方の杖をついて歩く姿から胸椎に負担がかかって起こる肋間神経痛であることに気がついたので、杖をつかず両腕を腰に当てるか手を膝の上に置いて歩くように指導して治療したところ痛みは治まりました。

テレビやパソコンのモニターの位置が正面でないとなんとなく頰を痛めることがあります。

寝違い 20代 男性

寝違いで頰が回せなくなって治療に見えた方がいました。この方の原因は職場のパソコンが右側にあって常に右を向いて仕事をしていたせいでした。パソコンを正面にして仕事をするように注意して治療したら治りました。

肩痛 60代 女性

左肩が寝ていると痛くなり、動かし始めが悪いと治療に見えました。この方の場合はテレビが自分の座っているところから左に位置するため、常に顔を左に向けていたのが原因でした。正面で見えるようにして治療したら三回で痛みが取れました。

普段の無意識の仕草が治りを悪くしている場合があります。

頸痛 60代 男性

左の首から肩にかけて痛くなり、レントゲンでは頸の骨がずれていると言われた方が来院しまし

た。この方の場合テレビを横になって肘を立てた腕枕で見る癖が原因でした。座ってテレビを見るようにさせて治療したら痛みが出なくなりました。

体重の変化も大きな原因

膝痛 80代 女性

90を過ぎたおばあちゃんが、2ヶ月前から階段の昇り降りですでに膝が痛くなった。シップで良くならないうと治療に見えました。膝の変形はあまり進んでおらず最近増えた体重が原因になってるようでした。ご本人に減量をするようお願いして鍼灸治療を始めたところ6回治療してよくなりました。

姿勢の悪さは症状を繰り返す大きな原因の一つです。

手の痺れ 40代 男性

2ヶ月前から右手が痺れ冷たく感じるようになったと言って治療にみえました。治療ベッドに腰掛けた姿勢は、疲れたようにぺこっとお腹をへこまして背中を丸め顎を上げた状態だったので姿勢を良くすると手の痺れは治ってしまうと話して治療したところ、半月でしびれは治ってしまいました。本人が気持ちを切り替えて姿勢を正すように気をつけたのだそうです。

緊張症の人はいろいろなところに力を入れて、症状を長引かせる傾向があります。

精神緊張から来る手のしびれ 40代女性

ストレスや天候などで体調が崩れると右腕が全体にジーンとしびれて手に力が入りにくくなる。2日前にシビレが強まり手が腫れて指の曲げ伸ばしがやりづらくなった。と言って治療にみえました。

この方は緊張すると肩を前にすぼめる癖があり、胸の筋肉が硬くなって神経と血管を圧迫しやすくなってました。ご本人には肩を前にすぼめる動作を極力しないようお願いし、硬くなった胸の筋肉やその周囲を解すように治療したら腕のシビレは取れました。

後頭部痛 30代男性

パソコンの仕事が忙しくなると頸肩こりが強まり後頭部から頭頂部にかけてガーンとした痛みが出てくる。とのことでした。

かなり過敏な方で、身体を触診している間にも力を入れて緊張してしまうので、まずは緊張をゆるめる非常に浅い鍼の打ち方をしたら4回の治療で良くなりました。

精神緊張とバネ指 80代 女性

2ヶ月前から左母指がバネ指になった、整形外科で注射を打っても効果なく、タオルを絞ると痛い。母指を曲げ伸ばしすると指の付け根でカクカク音がする。と言って治療にみえました。左母指の付け根を触ると、母指の屈筋腱が尖った小石のように腫れていました。

この方は家庭に大きな悩み事を抱えていて、治療の度にその話題になると親指に力が入ってしまうので、力を抜くように意識させて治療したら、急に治り方が良くなりました。

人は痛いところがあると、気になっていじる過ぎる事があります。

首の痛み 40代 男性

半年前から下を向くと左頸肩から腕にかけて痛みが走る。と言って頭を右に傾けて窮屈そうなかっこうで治療にみえました。3週間前に整形外科を受診し、レントゲンで3番と4番の間が狭くヘルニアと言われたそうです。

頰の可動域を調べてみると制限はそれ程でもなく、時々頭がまっすぐになる瞬間が見られました。この方の場合は、敢えて辛いところを伸して刺激することで痛みを和らげようとしていたようで、結果として刺激のしすぎで症状を長引かせていました。

そこで頰の圧痛や緊張したところに鍼を打ち、意識して頰をまっすぐに保ち、振り向いたりするときにゆっくりと普通に動かすように指導して治りました。

舌痛症 60代女性

そもそも歯の治療後から苦味を感じたことから症状が始まり、左目と左鼻筋。舌のへりと唇の内側が痛くて歯科で治療したが治らず、皮膚科に行ったら金属アレルギーだと言われ銀歯を全てはずしたが変わらない、耳科、内科、眼科、脳外科、麻酔科、米沢、山形、福島、宮城の名立たる病院を渡り歩いて六年もの間苦しみつづけているのにどんな治療をしてもあまり変わらなかったそうで、それぞれの病院では異常がないと言われていました。

口だけを見れば治療中ずっと舌先で唇の裏を舐め回しているの、患者さんに無意識で舐めるのを止めるには、気がついた時に軽く口を開いて深呼吸をし、頰を揉みながら力を抜くように指導しました。それから6日後治療に見えた時には「自分が如何に身を硬くしていたか良く分かりました。症状がぐっと楽になりました。」と言って喜んでくれました。それから約半月様子を見ましたが、痛みはすっかり消えました。

頸肩腕症候群 50代 女性

半年前縮れ毛矯正でアイロンをかけてもらったら髪の毛が気になって常に髪に手が行くようになった。常に毛先が気になっていじくりまわって1ヶ月したら両腕の付け根がだるくなり、常にビリビリ指が腫れて指輪も外した。マッサージをすると楽だが腕を使うとすぐに辛くなる。さらに1週間前から右腕がけいれんして箸が持てなくなりフォークで食事している。とのことでした。

この方の場合、ご家族を亡くされたり、大病した方が出て大変ショックなことが続いたそうで、潜在的不安から毛先のチクチク感に対する強い執着が起り、結果として腕を使いすぎて症状が出ていました。

筋肉をほぐし、身体全体の緊張をゆるめる治療をしたところ、翌日には手の腫れが引き、髪も触らなくなりました。

野球肩 30代 男性

1ヶ月前から野球で右肩が痛くなった。主にスローイングの時に痛い。医者で診てもらって肩鎖関節の炎症と言われシップをもらっているが治らない。と言って治療にみえました。

ご本人は悪い場所を突き止めようとこの1ヶ月右肩をずーといじりっぱなしだったそうです。そこで、肩をいじり回す行為を止めるように話しました。この日も運動鍼をやって治療を終え、けして右肩をいじらないようお願いして治療したら投げても痛みが出なくなりました。

痛みを気にしてびっこを引くのも症状を長引かせる原因になります。

普通に歩いて取れた足の痛み 50代 男性

10日前に右足で小石を踏み抜いて5針縫った。抜糸したが不安で足が付けない。傷を浮かした格好で歩いてるせいか、腰も肩もあちこち痛くなってきた。と言ってびっこを引きながら治療にみえました。痛いところの治療を一通りやり終わってから、びっこを引かず、傷口をかばわないでゆっくり正しく歩くように指示しました。患者さんは恐る恐るでしたが、ちゃんと傷口も床に付けて歩くことが出来ました。それっきり下肢痛も腰痛も治ってしまいました。